

# 香川県立ミュージアム新しい展示が始まります

食をテーマに昭和時代の道具を紹介します

## 食を支えた昔の道具

- 会期** 令和5年9月15日(金)～12月10日(日)  
開館時間 9:00～17:00  
入館は閉館の30分前まで  
休館日 月曜日(9月18日、10月9日は開館)、9月19日(火)、10月10日(火)
- 会場** 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町5-5) 常設展示室1
- 内容** 昔の道具を手がかりに、暮らしの変化を調べていくと、人々の生活がどのように便利になったのか、気づくことができます。今回の展示では、「食」をテーマに昭和時代を中心に使われた道具を紹介します。台所道具はもちろん、茶の間を明るくしてくれたラジオやテレビなども登場します。懐かしい道具を見ながら、昭和の暮らしに思いを馳せてみませんか。
- 展示点数** 43件48点 高松松平家歴史資料コーナー10件10点
- 観覧料** 一般410円 団体(20名以上)330円  
高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料  
特別展「映画のレシピ」会期中(10月7日～11月26日)は特別展観覧券でご覧いただけます。
- 関連行事** ミュージアムトーク(担当職員による展示解説)  
日時 10月9日(月・祝)、11月4日(土) 各日13:30～(30分程度)  
場所 常設展示室1 \*申込不要、観覧券が必要

(裏面に続く)

## 7 主な展示品

### 自動菓子販売機 大正～昭和時代 個人蔵



観音寺市大野原町の商店で使用されていたものです。

ゼンマイ仕掛けで動き、お金を入れると「チリンチリン」という音がしてお菓子が出てきます。キャラメルなどの小さな箱入り菓子が販売されていました。

### 電気釜 昭和30年以降 当館蔵



電気釜（電気自動炊飯器）は、昭和30年（1955）に売り出されました。それまではかまどに火をおこして薪を燃やし、羽釜をかけていました。

電気釜の登場で、面倒だった火加減から解放され、スイッチひとつで米が炊けるようになりました。

### 白黒テレビ 昭和30年代 当館蔵



皇太子ご成婚（昭和34年）や、東京オリンピック（昭和39年）をきっかけにテレビは急速に普及しました。茶の間におかれた白黒テレビは、家族の団らんに欠かせないものになっていきます。